

平成22年10月 東京地区百貨店売上高概況

平成22年11月24日

I. 概況

1. 売上高総額	1,289億円余
2. 前年同月比	2.7% (32か月ぶりプラス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭2.6%(88.6%) : 非店頭3.3%(11.4%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	14社 27店 (平成22年9月対比±0店)
5. 総店舗面積	943,473㎡ (前年同月比: -0.3%)
6. 総従業員数	20,752人 (前年同月比: 1.6%)
7. 3か月移動平均値	3-5月 -4.0%、4-6月 -4.1%、5-7月 -3.0%、 6-8月 -3.5%、7-9月 -2.9%、8-10月 -1.3%

[参考] 平成21年10月の売上高増減率は-13.1% (店舗数調整後)

【10月売上の特徴】

- (1) 10月は都内各店で積極的に集客施策が展開され店頭は賑わいを見せた。具体的にはプロ野球感謝セールをはじめ、海外・地方物産展、文化催事、さらにはエコロジーやピンクリボン等の社会的テーマを持ったイベントなど多種多様な企画が実施された。
- (2) 下旬の冷え込みで防寒商材が活発に動いたが、好調アイテムとしては、コート・ジャケット等重衣料のほか、マフラー、ストール、手袋、タイツ、ブーツ等があげられる。
- (3) 紳士服が3.9%と比較的大きな増加となった。これには都内各店でスーツを中心としたビジネスウェア関連催事の強化策が一斉展開された背景がある。
- (4) 高額商材についても、高級時計などを中心に美術・宝飾・貴金属が前年を2.6%上回り、一時の落ち込みから需要が戻りつつある。
- (5) 都内では10月から、各店でおせちやクリスマスケーキの受注が開始され、概ね前年を上回るペースで推移している。

【要因】

- (1) 営業日数増減 31.0日 (前年同月比±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見ると傾向値/前年同月比)
①増加した: 10店、②変化なし: 5店、③減少した: 4店、④不明: 3店
- (3) 10月歳時記(体育の日、旅行シーズン)の売上(同上)
①増加した: 4店、②変化なし: 6店、③減少した: 2店、④不明: 10店
- (4) 翌月上見通し(回答店舗数で見ると傾向値)
①増加する: 4店、②変化なし: 12店、③減少する: 3店、④不明: 3店

東京地区百貨店 売上高速報 2010年10月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
総 額	128,903,373	100.0	2.7
紳士服・洋品	12,205,277	9.5	3.9
婦人服・洋品	29,910,914	23.2	0.1
子供服・洋品	2,526,416	2.0	6.7
その他衣料品	3,128,306	2.4	-10.6
衣 料 品	47,770,913	37.1	0.6
身のまわり品	17,589,338	13.6	3.2
化粧品	6,456,165	5.0	-2.1
美術・宝飾・貴金属	6,572,011	5.1	2.6
その他雑貨	6,567,932	5.1	-6.0
雑 貨	19,596,108	15.2	-2.0
家 具	2,056,675	1.6	9.5
家 電	781,933	0.6	-6.9
その他家庭用品	4,611,412	3.6	10.1
家 庭 用 品	7,450,020	5.8	7.9
生 鮮 食 品	4,613,128	3.6	2.8
菓 子	7,056,210	5.5	3.2
惣 菜	6,348,711	4.9	2.2
その他食料品	8,738,585	6.8	1.6
食 料 品	26,756,634	20.8	2.4
食 堂 喫 茶	3,254,205	2.5	1.1
サ ー ビ ス	2,447,451	1.9	19.3
そ の 他	4,038,704	3.1	51.6

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。
本統計には消費税は含まれておりません。

		対前年増減(-)率(%)
商 品 券	6,136,027 千円	57.6
従 業 員 数	20,752 人	1.6
店 舗 面 積	943,473 m ²	-0.3
営 業 日 数	31.0 日	前年 31.0 日

II. 商品別の動き

主要5品目では、衣料品が27か月ぶり、身のまわり品が31か月ぶり、家庭用品が2か月連続、食料品が25か月ぶりのプラス。マイナスは雑貨。また、紳士服・洋品、婦人服・洋品、子供服・洋品、美術・宝飾・貴金属、家具、その他家庭用品、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品がプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	2.7	—	32か月ぶりプラス
紳士服・洋品	3.9	0.4	3か月ぶりプラス
婦人服・洋品	0.1	0.0	27か月ぶりプラス
子供服・洋品	6.7	0.1	5か月ぶりプラス
その他衣料品	-10.6	-0.3	30か月連続マイナス
衣料品	0.6	0.2	27か月ぶりプラス
身のまわり品	3.2	0.4	31か月ぶりプラス
化粧品	-2.1	-0.1	23か月連続マイナス*
美術・宝飾・貴金属	2.6	0.1	5か月ぶりプラス*
その他雑貨	-6.0	-0.3	29か月連続マイナス*
雑貨	-2.0	-0.3	30か月連続マイナス
家具	9.5	0.1	5か月ぶりプラス
家電	-6.9	0.0	3か月連続マイナス
その他家庭用品	10.1	0.3	4か月連続プラス
家庭用品	7.9	0.4	2か月連続プラス
生鮮食品	2.8	0.1	2か月連続プラス*
菓子	3.2	0.2	6か月ぶりプラス*
惣菜	2.2	0.1	31か月ぶりプラス*
その他食料品	1.6	0.1	2か月ぶりプラス*
食料品	2.4	0.5	25か月ぶりプラス
食堂喫茶	1.1	0.0	24か月ぶりプラス
サービス	19.3	0.3	7か月連続プラス
その他	51.6	1.1	7か月連続プラス
商品券	57.6	1.8	15か月連続プラス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・佐藤・西田まで

TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>